

≫≫ お知らせ

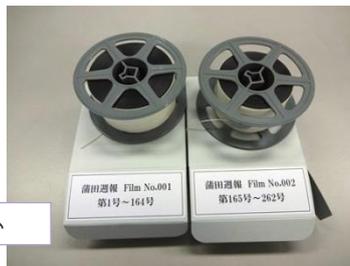
昨年末より、クラウドファンディングで募った費用で『蒲田週報』の修復・デジタル化を行ってまいりましたが、このほどすべての作業が終了しました。

12月6日より3月10日までは、紙資料修復工房で解体・修復作業を行いました。その後、3月10日から寺田倉庫でデジタル化を進め、3月31日に作業を終えた『蒲田週報』と共にデータを格納したDVDが納品され、4月11日には、マイクロフィルムと保存用及び閲覧用データを格納したHDDが納品されました。

そして、4月24日には紙資料修復工房より『蒲田週報』用に誂えた保存用の箱が納められました。これから閲覧用のプリントアウトを作るなど、まだ作業はありますが、追ってご報告いたします。



納品されたCD、マイクロフィルム



解体・修復を終えた『蒲田週報』
(右は保存用の箱に収まった様子)

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 4月演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『壽春鳳凰祭』	○			
	『鎌倉三代記』	○			
	『壽靱猿』	○			
	『曾根崎心中』	○		○	○
	『一條大蔵譚 檜垣・奥殿』	○			
	『女伊達』	○			
	『梅雨小袖昔八丈 髪結新三』	○			
新橋演舞場	『滝沢歌舞伎2014』		○	○	○
南座 (京都)	『源氏物語』			○	○
	南座 春の特別舞台体験			○	○
松竹座 (大阪)	『空ヲ刻ム者 若き仏師の物語』	○		○	○
金丸座	『菅原伝授手習鑑 加茂堤・車引・寺子屋』	○		○	○
	『女殺油地獄』	○			
神奈川芸術劇場	『ザ・オダサク』			○	○

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

(新着資料案内 続き)

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『たまこラブストーリー』			○		
『プリズナーズ』	○	○	○		

■ 映画プログラム ■

- 『LIFE!』
- 『クローズEXPLODE』
- 『神様のカルテ2』
- 『ワン チャンス』
- 『ウォルト・ディズニーの約束』
- 『8月の家族たち』
- 『劇場版 仮面ティーチャー』
- 『キック・アス ジャスティス・フォーエバー』
- 『映画ドラえもん 新・のび太の大魔境 ペコと5人の探検隊』
- 『キャプテン・アメリカ ウィンター・ソルジャー』
- 『ローン・サバイバー』
- 『大人ドロップ』
- 『チーム・バチスタFINAL ケルベロスの肖像』
- 『それでも夜は明ける』
- 『エヴァの告白』
- 『オール・イズ・ロスト 最後の手紙』
- 『ネブラスカ ふたつの心をつなぐ旅』
- 『アナと雪の女王』
- 『銀の匙 Silver Spoon』
- 『アニメミライ2014』
- 『エージェント：ライアン』
- 『土竜の唄 潜入捜査官 REIJI』
- 『シャドウハンター』

■ 他社演劇公演資料 ■

- 赤坂RED/THEATER 3月 ワンツーワークス『流れゆく庭 あるいは方舟』プログラム、台本
- 大阪新歌舞伎座 3月 『松平健・川中美幸特別公演』プログラム
- 紀伊國屋ホール 3月 人形劇団プーク『ピンクのドラゴン』プログラム
- シアタークリエ 3月 『DADDY LONG LEGSダディ・ロング・レッグス』プログラム
- 博多座 3月 『滝沢歌舞伎2014』プログラム
- 博品館劇場 4月 『武田鉄矢・前川清特別公演』ポスター
- 3月 見上げたボーイズプロデュース『これから…。』プログラム
- Tokyo七福神GEKIJOU『SHUNPU Gaiden春風外伝』プログラム
- 『夢で逢いましょうVol. 21中島啓江コンサート』プログラム
- プーク人形劇場 3月 人形劇団プーク『おだんごコロリン』『てぶくろ』プログラム
- 本多劇場 3月 加藤健一事務所『あとにさきだつたかたの』プログラム
- 八千代座(熊本) 3月 『市川海老蔵 古典への誘い』プログラム
- 六行会ホール 3月 みつわ会『弥太五郎源七』『一周忌』プログラム

■ 演劇雑誌 ■

- 『あぜくら』平成26年4月号
- 『演劇映像』2014年55号
- 『演劇界』2014年6月号
- 『大向う』平成26年4月号,5月号
- 『神奈川芸術プレス』2014年4月-5月Vol.117
- 『喝采』2014年8月
- 『Confetti』2014年MAY Vol.113
- 『JPL』2014年Spring No.53
- 『伝統文化新聞』2014年(95号)
- 『芸劇BUZZ』Vol.7
- 『Bandaly』2014年(13号)
- 『悲劇喜劇』2014年5月号
- 『邦楽の友』平成26年5月号
- 『日本芸術文化振興会ニュース』平成26年5月号
- 『日本劇作家協会会報 ト書き』2014年No.52
- 『日本照明家協会誌』2014年4月号
- 『日本舞踊』66巻5月号
- 『ラ・アルプ』2014年5月号
- 『SANZUI』Vol.4 2014
- 『シアターガイド』2014年6月号
- 『テアトロ』2014年5月号

(新着資料案内 続き)

■ 映画雑誌 ■

『ドラマ』2014年5月号
『映画テレビ技術』2014年5月号
『映画秘宝』2014年6月号
『エキブ・ド・シネマ』2014年No.199
『キネマ旬報』2014年5月上旬号,5月下旬号
『京橋映画小劇場 KYOBASHI-ZA』
No.28
『NFCカレンダー』2014年6月号
『NFCニューズレター』2014年4月-5月号
『日経エンタテインメント!』2014年5月号
『SCREEN』2014年6月号
『シナリオ』2014年6月号
『シナリオ教室』2014年5月号
『友 Iwanami Hall』
2014年春号No.381
『ピクトアップ』2014年6月号
『FLIX』2014年6月号

資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2014年2月~2014年3月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、文学座、日本映画テレビプロデューサー協会、ディアゴスティーニ・ジャパン、キネマ旬報社、演劇出版社、関西・歌舞伎を愛する会、劇団四季、フィルムセンター、国立劇場、株式会社日本舞踊社、明治座、シアタークリエ、劇団山の手事情社、一般社団法人日本民間放送連盟、京楽座、東京大学出版会、劇団民藝、株式会社カモミール社テアトロ編集部、ロングランプランニング株式会社、東宝株式会社、公益社団法人日本照明家協会、伝統文化新聞、パルコ劇場、国立歴史民俗博物館、日本劇作家協会、義太夫協会、愛知県文化振興事業団、岩波ホール、(株)近代映画社、LIXIL出版、秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場、アーティストジャパン、四季株式会社、新橋演舞場株式会社、前進座、帝国劇場、日本ウニマ (国際人形劇連盟)、日本映画テレビ技術協会、邦楽の友社、おもだか会、舞踊芸術社、日本映画撮影監督協会、銀座百店会、公益財団法人ニッセイ文化振興財団 (日生劇場)、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、早稲田大学演劇博物館 演劇映像学連携研究拠点、シナリオ・センター、博多座、株式会社角川学芸出版、若林さだ吉、新歌舞伎座、北翔大学北方圏学術情報センター、丸善出版株式会社、集英社、明治学院大学大学院、日本近代文学館、劇団ワンツーワークス、人形劇団プーク、劇団新派、日本劇団協議会、流山児★事務所、劇団銅鑼、玉造小劇店、早稲田大学演劇博物館、映画論叢、OSK日本歌劇団、加藤健一事務所、公益社団法人日本バレエ協会 舞踊年鑑編集委員会、新国立劇場情報センター、竹本谷太夫、東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

どうもありがとうございました

第43回松竹大谷図書館所蔵資料展示「十二代目市川團十郎」展

展示期間：2014年4月25日～5月28日／於 閲覧室



今月の所蔵資料展示は、平成25年2月3日に逝去された十二代目市川團十郎の資料をご紹介します。團十郎は当館の理事に平成12年4月にご就任いただき、お忙しいスケジュールのなか可能な限り理事会にご出席下さり、当館の活動に深いご理解とご協力をいただきました。

團十郎は、昭和21年(1946)8月6日に十一代目市川團十郎の長男として生まれ、昭和28年(1953)10月歌舞伎座『大徳寺』の三法師で初舞台を踏み、昭和33年(1958)5月歌舞伎座『風薫鞍馬彩』の牛若丸で六代目市川新之助を襲名。昭和44年(1969)11月歌舞伎座『助六由縁江戸桜』の助六ほかで十代目市川海老蔵を襲名し、昭和60年(1985)4・5・6月歌舞伎座『勸進帳』の弁慶、『暫』の鎌倉権五郎、『助六由縁江戸桜』の助六ほかで十二代目市川團十郎を襲名しました。平成24年(2012)12月の南座での舞台が最後となりました。

その経歴を見ると、いかに数多くの舞台で大きな役をされてきたかが分かります。当館でも様々なご出演舞台の写真や台本を所蔵しており、在りし日のお姿が偲べれます。

▼展示資料一覧▼

【スチール写真】

『三国無双瓢軍配 大徳寺』昭和28年[1953]10月歌舞伎座上演 ◆夏雄初舞台

●佐久間玄蕃(七代目坂東彦三郎=十七代目市川羽左衛門)、平野権平良景(片岡大輔=六代目片岡芦燕)、片桐助作吉辰(六代目尾上菊蔵)、羽柴筑前守秀吉(九代目市川海老蔵=十一代目市川團十郎)、織田三法師(夏雄=十二代目市川團十郎)、長谷川丹後守(二代目尾上九朗右衛門)、柴田勝家(二代目尾上松緑)

『源平布引滝 実盛物語』昭和31年[1956]1月新橋演舞場上演

●斎藤別当実盛(九代目市川海老蔵=十一代目市川團十郎)、百姓九郎助(二代目坂東飛鶴)、太郎吉(夏雄=十二代目市川團十郎)、九郎助女房小よし(初代坂東羽三郎)、葵御前(四代目河原崎権三郎=三代目河原崎権十郎)

『一谷嫩軍記 熊谷陣屋』昭和53年[1978]9月新橋演舞場上演 ●熊谷次郎直実(十代目市川海老蔵=十二代目市川團十郎)

『源氏物語』昭和58年[1983]5月歌舞伎座上演

●藤壺中宮(七代目尾上菊五郎)、光君(十代目市川海老蔵=十二代目市川團十郎)

『雪暮夜入谷畦道』昭和59年[1984]3月歌舞伎座上演 ●片岡直次郎(十代目市川海老蔵=十二代目市川團十郎)

『仮名手本忠臣蔵』平成元年[1989]11月新橋演舞場上演

●大星由良之助(十二代目市川團十郎)、塩判判官高定(五代目中村勘九郎=十八代目中村勘三郎)

『毛抜』平成2年[1990]9月歌舞伎座上演 ●糸寺弾正(十二代目市川團十郎)

『若き日の信長』平成7年[1995]9月歌舞伎座上演 ●織田上総介信長(十二代目市川團十郎)

『勸進帳』平成22年[2010]1月歌舞伎座上演 ●武蔵坊弁慶(十二代目市川團十郎)

『祇園祭礼信仰記 金閣寺』平成22年[2010]7月新橋演舞場上演

●此下東吉実(真柴筑前守久吉(二代目中村吉右衛門)、松永鬼藤太(四代目河原崎権十郎)、松永大膳(十二代目市川團十郎)

『助六由縁江戸桜』昭和60年[1985]4月歌舞伎座上演

●花江戸助六実(海老蔵改め十二代目市川團十郎)、三浦屋揚巻(六代目中村歌右衛門)、髭の意休(十三代目片岡仁左衛門)

「十二代目市川團十郎襲名披露 成田山お練り」昭和59年[1984]10月28日

●堀越孝俊=十一代目市川海老蔵、十代目市川海老蔵=十二代目市川團十郎

新派『皇女和の宮』昭和46年[1971]1月新橋演舞場上演

●師の宮(十代目市川海老蔵=十二代目市川團十郎)、和の宮(初代水谷八重子)

新派『鹿鳴館』平成7年[1995]11月新橋演舞場上演

●影山伯爵(十二代目市川團十郎)、影山朝子(良重改め二代目水谷八重子)

映画『義士始末記』昭和37年[1962]松竹 大曾根辰保監督作品

●將軍綱吉(七代目市川新之助=十二代目市川團十郎)、荻生徂徠(島田正吾)

映画『流れの譜』昭和49年[1974]松竹 貞永方久監督作品 ●菅原忠礼(十代目市川海老蔵=十二代目市川團十郎)

大佛次郎記念館訪問時のスナップ写真 昭和53年[1978]8月

●十代目市川海老蔵 ◆同年9月新橋演舞場『江戸の夕映』上演に因み訪問

【各種資料】

「荒磯会」第七回公演【プログラム】昭和48年[1973]8月8-9日国立小劇場上演 ◆市川團十郎一門の会の公演

「十代目市川海老蔵掌読本」【パンフレット】歌舞伎座

『十二代目市川團十郎襲名披露口上』【プログラム、スチール写真(●十七代目中村勘三郎、海老蔵改め十二代目市川團十郎)】昭和60年[1985]4月歌舞伎座上演

「襲名全記録 十二代目市川團十郎」【図書】富山治夫著 平凡社 昭和60年[1985]10月

海外公演(アメリカ)【プログラム】昭和60年[1985]7月8日～8月11日 ◆初めての海外での襲名披露公演

≫≫ 展覧会紹介

松竹大谷図書館がこの春、所蔵資料を出展している二つの展覧会をご紹介します。

★その1【歌舞伎座ギャラリー「歌舞伎は旅する大使館」展】

2013年4月、第五期歌舞伎座開場とともにオープンした、歌舞伎座タワー5Fの歌舞伎座ギャラリー。展示二年目に入ったこの春からは一年をかけて、1928年に始まり現在までで100回を超えた歌舞伎海外公演の軌跡を紹介しています。

4月から8月の前期の展示では、1989年第30回公演までを取り上げ、松竹大谷図書館からは、当館が保存している現地のプログラムやポスターなどを展示に提供しています。また、多くの海外公演に文芸顧問として同行してきた河竹登志夫氏の手記や、参加スタッフのプライベート写真など、この期を逃しては見ることでできない貴重な資料ばかりです。そのほかに、海外公演を行なった世界各地を一目で見ることができる世界地図や、現地の批評などを盛り込んだ公演年表は、当時の世界情勢も鑑みながら、歌舞伎海外公演が果たしてきた意義を考えていただくお役に立つことでしょう。

会期：2014年4月2日（水）～8月24日（日）

※6月27日（金）～7月1日（火）は展示替えのため休館

※後期：2014年9月4日（木）～2015年1月25日（日）＜予定＞

会場：歌舞伎座ギャラリー 東京都中央区銀座四丁目12番15号 歌舞伎座タワー5階
開館時間：午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

<http://www.shochiku.co.jp/play/kabukiza/gallery/>



★その2【馬の博物館 特別展『歌舞伎と馬』展】

日本近代競馬発祥を記念した根岸競馬記念公苑内にある「馬の博物館」では、特別展『歌舞伎と馬』を開催中です。

古来、人間と最もかかわりが深いともいえる動物「馬」は、歌舞伎の劇中にもさまざまな形で登場してきます。今回は特に印象に残る歌舞伎の馬を、『一谷嫩軍記』『源平布引滝・実盛物語』『矢の根』『当世流小栗判官』『近江のお兼』『塩原多助一代記』『馬盗人』といった作品を中心に紹介しています。

ゆったりとした会場内には、馬の博物館所蔵の平家物語を描いた屏風や錦絵、サントリー美術館、出光美術館から出品の歌舞伎図屏風など重要文化財級の美術品とともに、『塩原多助一代記』『馬盗人』の舞台上で実際に活躍した馬が展示されています。普段は客席から眺めている馬たちと、触れ合えんばかりに近づけるチャンスです。

また、競馬が大好きだったという七代目中村芝翫丈の遺品も展示されています。

当館からは、上記作品の辻番付や絵本番付（木版摺りで挿絵のついた当時のプログラム）、台本、ポスターなどのほか、大正から昭和初期の名優たちが揮毫した書画を集めた『俳優帖』や『余沫集』も出展しており、美術ファン、歴史ファン、歌舞伎ファン、そしてお子様にもそれぞれの視点で楽しんでいただける展覧会となっています。

展示をご覧の後は、博物館裏手の厩舎へ立ち寄られることをお勧めします。ポニーやミニチュアホースといった、小型のかわいらしい馬や、珍しい和種馬、サラブレッドなど8頭ほどが飼育されている様子をながめることができます。引退した天皇賞馬マイネルキッツも、ここでのんびり暮らしています。

月に何度かある乗馬デーなどでは、こちらの生きた馬たちとも触れ合えるとのことですので、気候の良いこのシーズン、ぜひ横浜までお出かけになることをおすすめします。

会期：平成26年4月26日（土）～6月8日（日）

会場：馬の博物館 神奈川県横浜市中区根岸台1-3

開館時間：午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

http://www.bajibunka.jrao.ne.jp/U/20140228_1.html



■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2014（平成26）年4月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

■ お知らせ

現在、当館で使用している図書管理システムを新システムへ移行中につき、資料の新規登録が出来ない状態になっております。そのため今月の資料案内は「新着資料案内」のみとさせていただきます。

■ 編集後記

▼右でお知らせした通り、現在新システムへの移行を図っております。当館で図書管理システムを使用し始めたのは、平成16年のことでした。それまでは開館以来45年に渡って、カード一枚一枚に資料名を記入して配架するという方式での登録を行っていたため、パソコンで資料の詳細を入力して登録していくことが、とても新鮮に感じられました。そして今回の新システムへの移行。また新たな操作方法で資料を登録していくことになりました。

カードからシステムへ、そして新しいシステムへと登録方法は時代によって変わっていきませんが、所蔵資料を管理し、検索するためのデータは常に丁寧にと心がけています。これからもスタッフ一同頑張りたいと思います。



- **利用案内**
- **開館時間**
平日午前10時～午後5時
- **休館日**
土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間
- ※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。
- **閲覧** 館内閲覧のみ
- **入館料** 無料
- **交通案内**
東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分